

<h1>しんあい</h1> <p>季刊</p> <p>2013年(平成25年)11月5日発行 第88号 ◆編集と発行 しんあい編集部</p>	<p>社会福祉法人 多摩同胞会</p> <p>〒183-0042 東京都府中市武蔵台1-10 TEL042-367-8801</p> <p>多摩同胞会のホームページでは、 ブログを毎日更新しています。 http://www.tama-dhk.or.jp/ をリニューアルしました。ぜひご 覧下さい！</p>
--	---



信愛寮の頼もしい女性陣たちが十五夜のお団子作りをしました。
お団子作りは今の時代珍しい光景ですが、ここでは毎年の恒例となっています。
(緑苑)

- | | |
|---|--|
| <p>泉苑</p> <ul style="list-style-type: none">・特別養護老人ホーム信愛泉苑・高齢者在宅サービスセンター
泉苑ケアセンター <p>緑苑</p> <ul style="list-style-type: none">・養護老人ホーム信愛寮・特別養護老人ホーム信愛緑苑 <p>あさひ苑</p> <ul style="list-style-type: none">・府中市立特別養護老人ホームあさひ苑・府中市立あさひ苑
高齢者在宅サービスセンター | <p>神田事業所</p> <ul style="list-style-type: none">・特別養護老人ホームかんだ連雀・かんだ連雀高齢者
在宅サービスセンター・千代田区立岩本町ほほえみプラザ <p>児童福祉</p> <ul style="list-style-type: none">・子ども家庭支援センターしらとり・母子生活支援施設白鳥寮・母子生活支援施設網代ホームきずな・府中市子ども家庭支援センターたち |
|---|--|

- ・新・介護保険を考える7
- ・祝 敬老の日
- ・開講
緑苑・安心シニア塾
- ・施設だより
「秋の思い出」



新・介護保険 を考える 7

一住まい・生活支援・ 介護・医療一

理事長 鈴木 恂子



介護保険法が1997（H9）年12月に成立し、2000（H12）年4月から施行されてから、満13年が経ち、14年目を迎えました。その間、3年ごとの制度の見直しと各保険者（自治体）、自治体の介護保険事業計画（サービスの提供量と保険料の決定）が繰り返されてきました。今年（H27）は第6期の事業計画に向けて準備が始まりました。国の社会保障審議会等の議論から65歳以上の高齢者がピークになる2015年からの高齢者対策のために大きな改革が予測されています。併せて、消費税率の引き上げと社会保障の一体改革が叫ばれ、社会保障制度改革国民会議の報告書が発表されました（H25年8月6日）。これを受けて、10月15日政府社会保障制度改革の手順を決めた「持続可能な社会保障制度の確立を図るための改革の推進に関する法律案」（プログラム法案）を閣議決定しました。

高齢者の年金、医療、介護も大きな制度改革が予測されます。高齢者の医療、介護の目標のひとつが「地域ケアシステム」の考え方です。高齢者が安心して住みなれた地域で生活を継続するためには住まい、生活支援、介護、医療が断絶することなく提供できるシステムづくりが2015（H27）年度の介護保険事業計画の柱ともいわれています。今回はその4つのキーワードをもとに現状を居場所を中心にまとめました。費用は介護保険の給付対象になるもの、自己負担-サービスを購入するものになります。

●●● 本来の主目的ではないが、一部にその機能をもつ。例えば特定加算の扱いなど。

		住まい	生活支援（家事-見守り）	予防（活動）
介護保険施設	介護療養型医療施設			●●●
	介護老人保健施設			
	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	多床室・個室（従来型）・個室ユニット型（新型特養）		
介護保険特定施設	養護老人ホーム			
	軽費老人ホーム・ケアハウス			
	有料老人ホーム			
地域密着	グループホーム			
老人福祉施設	養護老人ホーム			
	軽費老人ホーム・ケアハウス			
住居	有料老人ホーム			自主活動 自治体サービス 介護予防活動
	サービス付き高齢者住宅		見守り ●●●	
自宅	公営住宅		近隣・家族 福祉サービス 自治体 有料サービス	
	賃貸住宅			
	持家			

		介護 リハビリ	医療	特色（説明）
		●●●		介護保険適用の病院。別に医療保険適用の療養型がある。
			●●●	概ね6ヵ月を期限としている。老人保健法→介護保険法に移行した。リハビリ・在宅復帰を目標とする。近年特養待機利用も多いといわれている。
		●●●	通院・入院	原則住民票を移して生活する施設。終の棲家的に入所される方が多く、施設内で看取ることもある。老人福祉法の施設。
			通院・入院	H18年度より介護サービスを内包する特定施設化が進められたが東京ではこの選択をした施設はない。
			通院・入院	特定施設入居者生活介護を提供する。原則自立した方が対象だが、経年の中で要介護度の方も増加している。
			病院と連携している場合が多い	介護保険適用で介護サービスを提供する。基準外のサービスはオプション、食事、生活支援も自己負担になる。
			往診・通院・入院	認知症の方を対象とした個室ユニット型。9名を1ユニットとして最大2ユニットまでが基準で、各自治体が指定する地域密着型サービス。
通所介護	訪問介護	短期入所	通院・入院	老人福祉法の施設。各自治体が入所判定手続きを経て措置決定する。外部の介護サービスを利用できるようになった。入所時自立していても経年のなかで要介護2～3の方もいる。措置の壁があつくなかなか入所につながらない。
			通院・入院	施設と直接契約・食事・見守り・相談・入浴設備などがある。やはり経年のなかで介護度2～3の方も増えている。外部サービス利用可。
			通院・入院	住宅型は、介護は外部サービス利用。健康型は、介護が必要になると原則退去となる。
			通院・入院	H23年度国土交通省が高齢者向け住宅を一本化し、厚生労働省と新たに作った住宅「サ高住」といわれ急増している。見守り必須（コーデイネーター配置）食事は有料で提供。介護サービスは外部利用。
			（通院・入院）病院	高齢者の一人暮らし、二人暮らしの場合、食事をはじめとする家事を誰がどう支えるか、見守りを誰がどのようにするか、介護保険からはずれるサービスが課題。H18年以降自助互助でと言われてきたが、H27（2015）年度に向けて自治体の責任で、NPO法人や社会福祉法人等多様な事業者によるサービス提供を、とされているが…。

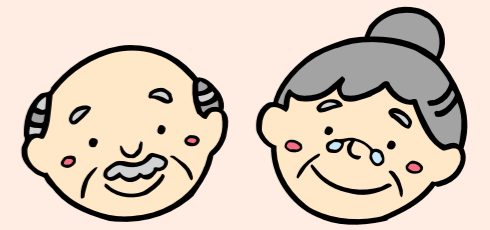
高齢者の生活の場は、急速に多様化しています。いずれも利用者負担が高く、市場で住宅やサービスを調達する流れになりました。かつて老人福祉法に基づく特別養護老人ホームや養護老人ホームは公の責任によってその方の生活を保障するという制度でしたので、収入に応じて負担額が決まる応能負担であり、所得の少ない方も安心して生活ができました。しかし特養が介護保険制度下となり、養護老人ホームは措置費が各自治体の一般財源化されたため入所の間口が狭くなり、入所しにくくなりました。結果として経済力も含めさまざまな力が弱くなった高齢者は、ひとり暮らしの自宅に取り残されゴミ屋敷化したり、孤独死につながったりしています。また、生活保護受給者の居場所は貧困ビジネスに救いを求めている現実です。

一方、自立した生活を営んでいた高齢者も加齢や病気、怪我などをきっかけに食事・買い物・掃除・金銭管理等々自宅での生活に不安を感じ、早期に有料老人ホームや「サ高住」に転居する方も増えています。それなりの負担が伴うこと、更に介護が必要となったときにどうするのか、また次なる将来の不安が生まれます。生きること、老いることが難しい現実です。安心して老いを迎えるために、自宅での生活を継続するために、自分の住んでいる地域、自治体でどのような仕組みがあればよいのでしょうか。地域包括ケアシステムがその答えになるよう、それぞれの立場で取り組んでいく時を迎えています。

（編集：法人事務局 青木 志乃）



みなさまのご長寿をお祝いいいたします



老人福祉法は昭和38年8月に施行され、第2条には「老人は、多年にわたり社会の進展に寄与してきた者として、かつ、豊富な知識と経験を有する者として敬愛されるとともに、生きがいを持てる健全で安らかな生活と、昭和41年に「敬老の日」が制定されました。9月は高齢者を敬う気持ちを特に込めて、法人各施設でお祝いをしました。

泉苑

秋のイベントと言えば「敬老祝賀会」です。中でも特にスポットライトを浴びるのが賀寿者の方々です。今年の泉苑では、上寿8名、白寿1名、卒寿2名、米寿7名、傘寿3名、喜寿4名、古希1名の計26名の方々が賀寿者となりました。特に最高齢104歳を始めとする方々は泉苑の自慢です。
地域のボランティアさんによる「コーラス」と「よさこい」で盛り上がり、祝賀式典や御祝い膳など、皆さまに喜んでいただけるよう職員一同取り組みました。
皆様ご長寿おめでとございます。(飯野 愁一)



しらとり



しらとり女子学童の泉苑敬老会でのお祝いの言葉です。

私の思う「敬老の日」
学童を代表して作文を書くことになったけど、何を書けばいいかわからなくて困りました。そこで、敬老の日が出来た経緯を調べると、兵庫県野間谷村長が「老人を大切に、年寄りの知恵を借りて村作りをしよう」と言ったのがきっかけでした。私は思いました。人間には誰でも若い時があり、そしていずれは老人になるのですから、自分の人生を大切に、人生の大せんぱいを敬い、敬老の日だけでなく日々の生活の中でも優しさを忘れずに、楽しく年をとって生きていけたらいいなあと思いました。

(岡野 悠子)

あさひ苑

9月15日、あさひ苑に大きな手拍子と歓声がかぐやました。
この日、敬老を祝う会でご利用者の皆様のご長寿をお祝いました。
ボランティアさんによる大正琴・府中囃子、新人職員の「ソーラン節」と「風になりたい」のオリジナルダンスが披露されました。
新人職員のメンバー達は1ヶ月前から練習に励み、ご利用者の笑顔のために一生懸命な姿は介護員としてとても輝いていました。(築瀬 公亮)



きずな

きずなの学童の子ども達が、地区合同の敬老会に参加しました。
今年は、ソーラン節を披露し、手作りの印鑑ケースにメッセージカードを添えてプレゼントしました。
ソーラン節は、1か月程前から練習に取り組みました。
当日は、上手にソーラン節を踊ることができ、地域のお年寄りの方に喜んでもらうことができました。(紫野 久子)



緑苑

今年、緑苑の敬老では賀寿者の皆様の胸章をコサージュに一新しました。
百歳以上の方は大きめのコサージュ、古希以上の賀寿者の方は少し小さめのコサージュ。
胸元にお花があると、表情も明るく生き生きと見えます。
どうです、Mさんの表情は、ご機嫌でしょう？
(西林 昌子)



たっち



交流ひろばのスポットタイムで、敬老の日をテーマに歌を歌ったり敬老の日の謂れについてのお話をしました。「社会を支えてくれたおじいちゃん、おばあちゃんにありがとうの気持ちを伝えよう」と話をすると、子どもたちは一生懸命お話を聞いてくれてうなずいていました。みんなで一緒に肩たたきの歌をうたいながらトントンと肩たたき。ちょっと恥ずかしそうにしながらもみなさん嬉しそうなお様子でした。
(木村 恵理佳)

かんだ連雀

9月15日かんだ連雀では敬老のお祝いをしました。
ご利用者の皆さまには「踊り」が楽しんでいただけるのではないかと「ソーラン節」に決めました。
練習中は、テンポが早く最初は全く踊れず、メンバーと試行錯誤しながら、なんとか形になりました。
本番ではかなり緊張してしまい少し間違えてしまう場面もありましたが、迫力のある踊りに皆さんとても喜んで満足していただけた様子でした。
敬老会が終わりしばらく経っても「踊りかっこよかったよ」「また踊ってね」と言って頂き印象に残るお祝いができたことを嬉しく思っています。
(木村 隆秀)



岩本町

敬老祝賀会の式次第の作成をデイサービスご利用のYさんをお願いしたところ心良く引き受けてくださいました。「皆様がいつまでも健康で長生きできるように願いながら書きました」と話すYさんは、学生時代に書道の先生をしていた叔母さんに習って以来書道から離れていましたがデイサービスに通うようになり書道を再開されたそうです。スラスラと迷いなく筆を動かす姿は、長い間書道から離れていたとは思えないほど貫禄があります。
Yさんの書のおかげでお祝いの気持ち一杯な敬老祝賀式となりました。
(天野 英恵)



開講!

緑苑・安心シニア塾

～記念講演～

平成25年9月18日、澄みきった秋空のこの日に緑苑の地域交流スペースで安心シニア塾が開講しました。開講にあたり鈴木理事長による記念講演が行われました。ご予約いただいたのは約30名の方でしたが、当日は60名を越す方々にお集まりいただき、会場は満席となり担当者はうれしい悲鳴をあげました。講演内容をお伝えします。

人生60年から80年という時代を迎え、さらには100歳以上の方が多くおられるこの時代は、平和で豊かな証拠であるのに、単純に長寿を喜べない一面もあります。高齢社会の課題としては、加齢による身体的な老化、地域の中で孤立する社会的な老化、家族を亡くしたりした心理的な老化などがありますが、やってくる老いを受け止めて、自らの役割を果たせるように暮らして行きたいものです。

また、現役時代は会社人間だった方が定年後地域に戻った際には、孤立しがちですが、是非地域づくりに参加していただきたいと思えます。地域の主役はシニア世代です。

シニア時代を迎えるにあたっては、ある程度ゆとりのあるうちに様々な情報を得て、安心して老いるためにその情報を活用することが必要です。本講座では、今後、収入・住まい・健康・介護・病気などをテーマに安心して老いを生きていくための情報を発信していきます。

今は「終活」などとも言われていますが、自分の思い描く人生の終わり方を考えてみましょう。また、府中市には11か所の地域包括支援センターがありますので、身近な相談場所としていただきたいと思います。



全回ご出席の方には修了証を発行します。

アンケートより

- ・高齢で話を聞きたくても来られない人にお話しをして差し上げたいと思います。(60代女性)
- ・元気なシニアの地域での役割が重要であり老後の自分の幸せにもなる。(50代女性)
- ・母2人の介護、孫2人の世話と自分の時間がほとんどありません。生きるということは本当に大変です。(60代女性)
- ・将来の自分たちが豊かな人生を选べるように仲間と知恵を出し合っていきたい。(70代女性)
- ・大きな老いの不安が現実として現れる日のために参考となりました。(70代女性)



これからの講座をご期待下さい。



関心の高さに熱気が感じられます。



講座修了後は昼食を召し上がることができます。

施設だより

秋の思い出

あさひ苑

十五夜



「十五夜」の9月19日は晴天となり、とてもきれいな「中秋の名月」を見ることができました。デイサービスのご利用者もご覧になった方が多く、翌日の活動では、その満月のお話でいっぱいでした。

職員：昨日の満月をご覧になりましたか？

Aさん：見た！見た！

Bさん：きれいだっただわねえ！

職員：私もあさひ苑から見ましたよ。数日前から楽しみにしていたから。Aさん：この満月はもうないわよ！10年に一度くらいしか見られない、綺麗な満月だったみたい。

Bさん：本当に中秋の名月だったわね。あんな十五夜はもうないわね。Aさん：となりマンションができたから、通りまで出てみましたよ。

職員：みな楽しみにしていたんですね。お天気で本当によかったね。

あさひ苑でも、ススキを飾り、お団子をお供えしました。紙で作った満月もぶらさがり、その中ではうさぎがお餅をつけています。気がつけば風も涼しく、スズメやコオロギの鳴く音が聞こえるようになっていました。残暑も和らぎ、本格的な秋の訪れを感じます。

(介護員 浅上 勝敏)

緑苑

信愛寮の昔話

秋と言えば「スポーツの秋」。かれこれ一四・五年前の信愛寮の昔話です。その頃は東京都内にある養護老人ホームが一堂に会して高齢者スポーツ大会がありました。場所は世田谷の駒澤体育館でした。

色々な競技がある中の風船割り競走のこと。気合満々で参加するご利用者Aさんによく見ているように言われた私は、精一杯の応援をしながら目をこらして観戦していました。いよいよAさんの順番になりました。猛タッシュでパイプ椅子まで駆けていき勢いよくゴム風船めがけお尻を下ろしました。しかし、なんとゴム風船の端に座ったらしく、そのままゴム風船はあらぬ方向に飛んでいき、本人はパイプ椅子にも嫌われ、床に直接尻もちを突いてしまいました。

「フーッ」観覧席から見ていた私は一瞬骨折でもしたかと青ざめました。次の瞬間、観覧席の私に「大丈夫よ」とピースサイン。本人は何事もなかったように苦笑いを浮かべて、再度挑戦し見事ゴム風船を割り、次のランナーにバトンタッチ。我が信愛寮チームはそのレースで見事優勝しました。

競技終了後に観覧席に戻り「ねえ、だから言っただでしょ。負けないって」とニコリ話しかけて頂いた、その笑顔が今でも忘れられません。皆さん怪我もなく、競技の合間に行われた、山本譲二ショーも特等席で見ることが出来て大満足の日でした。

(生活相談員 平岡 貴弘)

読書の秋、スポーツの秋など色々な秋がありますが、みなさんはどんな秋を過ごしていますか？各施設から秋のお便りが届きました。

きずな

日帰り旅行

きずなでは、日帰り旅行で東京ディズニーシーに行ってきました。朝は霧雨が降っており、お天気が心配でしたが、東京ディズニーシーが近づくにつれ、晴れ間が見えてきて、到着後は太陽が燦々と輝き、すっかりいいお天気になりました。パーク内はハロウィンの飾り付けがされており、グッズや食べ物もハロウィン仕様になっていました。一足先に少しハロウィン気分を味わうことができました。皆さんそれぞれ好きなアトラクションに乗ったり、美味しい物を食べたりと、思い思いに夢の国を満喫できたようです。

迷子やケガ、病人が出ることなく、無事日帰り旅行を終えられて良かったです。お母さんや子ども達にとっても、今回の日帰り旅行が楽しい思い出の一つになっていくことと思います。



(心理療法担当 富山 真輝)

連雀

季節を感じる

朝晩が冷えるようになり、少しずつ秋の気配を感じ始めました。かんだ連雀サービスでは、毎月ご利用者と一緒にカレンダー作りを行っています。今回のカレンダーは、秋の味覚である「柿と小人」が描かれた塗り絵です。柿と小人の帽子部分に形に切ったフェルトを貼り立体感を出し、その他の所を色鉛筆で塗ってもらっています。カレンダーを作りながら、ご利用者に秋の思い出を伺ってみました。

「昔は、秋というごとのように過ごされていたのですか?」
「昔はさ、物もなく働くことで精一杯だったからな」と言いながらも。
「甲府にぶどう狩りに行ったよ」とKさん。
「私イモ掘り行った事あるよ」とNさん。
「大昔に主人と京都に紅葉を観に行ったわね。」とHさん。

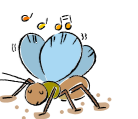


(相談員 高橋 愛)

時代が変わっても、秋の過ごし方というのはその変わらないものだなと、感じました。最近では、自宅からあまり外出する機会がなくなり、季節を感じる事が少なくなってきたいる方も多くいる中で、デイサービスとして活動の中に季節感を取り入れながらこの秋を楽しんで頂きたいなと改めて思いました。

たっち

秋の歌



どんぐりころころ、虫のこえ、とんぼのめがね、ちいさい秋みつけた、まっかな秋、こう見ると、秋は素敵な歌がたくさんありますね。たっちのひろばでは毎月、今月の歌を決めてスポットタイム（歌の時間）で歌っています。今月も季節にぴったりの素敵な歌に決まりました。そんなスポットタイムが大好きなMちゃんは、「ひろばでたくさんのお歌を覚えました!」とお母さんが話してくれるくらい毎回楽しく参加してくれています。

気に入った歌はしっかり覚えて、スポットタイム以外の時間にも、振り付きで歌ってスタッフやお母さん方に見せてくれます。とてもかわいその姿は周囲のみんなを和ませてくれます。『おきなくりの木の下で』あなたとわたし、なかよく遊びましょ。』



今日もひろばには元気な歌声が響いています。いつか、スポットタイムで覚えた歌が、Mちゃんにとっこの思い出の曲になるのでしょうか。

(交流ひろば担当 山本 菜穂子)

岩本町

十五夜うさぎ

今年9月19日にあたった「十五夜」という呼び名でも親しまれている中秋の名月。月の模様を、うさぎが餅をついている」と例えたりしますが、そんな例えにピッタリな可愛らしい切り絵をご利用者と一緒に作りました。

「切り絵なんて難しくなくて出来ないわ...」と乗り気ではなかった方も、始めてみるとさきほどの言葉が嘘のように集中して手を動かしています。「あら〜可愛いわ!」と、出来上がった切り絵を眺めている皆さんの顔はまるで、まんまるのお月様のようにピカピカと輝いていました。



(介護員 細田 樹里)

しらとり

ぶどう狩り

日中も涼しくなり秋らしくなってきた今日この頃、トワイライトステイで来た女の子に

「秋の思い出」って何かある?」
と聞いてみました。すると「思い出ってなに?」
と逆に聞き返されてしまいました。「思い出っていつのは、楽しかったり悲しかったり、気持ちが心に残っていることを言っただよ」と答えました。その子は、うんうんうなづいた後、にっこりと笑って言いました。「よ〜わかんない〜」。
そこで違う聞き方をすることにしました。
「秋にごかに行き遊んだりしたことなかった?」
「ぶどう狩りに行ったよ!」
「どうだった?」
「虫が出てびっくりした!」
これが彼女の秋の思い出です...



(トワイライト担当 高田 貴之)

泉苑

秋になると...

今年はとにかく暑い夏でした。デイサービスの送迎バスの中でも熱中症のニュースが話題にのぼり、ご利用者の体調はどうかなど、ふだんより気を配る毎日でした。

9月なかばのある日、利用者を迎えにいく車中で私は驚きの声をあげていました。なんと道路のわきに「秋を発見!」。彼岸花の花芽がいくつもニョキニョキと姿を出していたのです。

花と葉とが別々に姿を現すせいか忌み嫌う人がいる一方で、私は9月生まれなので、母がよく誕生秘話をする度にこの花のことを聞き、好きな花の一つなのです。次の週に同じ所を通ると、もうたくさんのお花が咲き乱れていました。

運転手も横にくるとゆっくりと走行してくれて、花を見てはご利用者と「どっつて時期がわかるのかしらねえ、不思議ね」などと話しています。秋を知らせてくれてありがとう!!



(介護員 森本 幸子)

ニュース

うらら多磨 ホームヘルプサービス

2013年8月1日にうらら多磨ホームヘルプサービス事業所が開設されました。

事業所は、府中市高齢者住宅うらら多磨に併設されています。うらら多磨の入居者だけでなく近隣にお住まいの方のご自宅を訪問し、身体介護や生活援助をいたします。法人のベテランのホームヘルパーが介護サービスを提供します。サービスのご利用についてはご担当のケアマネジャーにご相談下さい。



住所

東京都府中市多磨町2-56-2

電話

042-3671-8803

*うらら多磨診療所は平成25年3月をもちまして閉院しました。

御寄贈・御寄付ありがとうございます(敬称を省略させていただきます)

伊藤忠テクノソリューションズ 大沢良三 小倉スミエ カルビー(株) 河北英子 (株)キッザニア東京 木本泰司 近畿日本ツーリスト (株)劇団飛行船東京支社 三建サービス (株)三晃 須藤光忠 鈴木恵美 セカンドハーベストジャパン セブン銀行 東京海上日動火災保険株式会社 東京都食肉生活衛生同業組合 (福)東京福祉会 西東京地区保護司会あきる野分区分 公益財団法人日本産業退職者協会 (株)ポリシヨイサーカス 三菱東京UFJ銀行 緑町三丁目自治会 明治安田生命保険相互会社 山内俊子 横田基地会長篠崎嘉弘 吉池美紀子 緑寿会 川博 (2013年7月~2013年9月)

ボランティアの御協力ありがとうございます(敬称を省略させていただきます)

会田久枝 青山幸子 赤井あつ子 赤林好子 浅野貞子 朝日保育所 網代恵美 網代弘子 荒岡美幸 荒波智子 有本陽子 安藤尚子 飯塚喜彦子 井口イマ池田妙子 囲碁を楽しむ会 石井悦子 石井忠男 石井久子 石井宏 石井好子 石川美佐枝 石坂勝世 石坂規容子 石坂トメコ 石坂友子 石澤圭子 石野美代子 市川アイ子 市川知子 遠藤伊代 伊藤徳三郎 伊東富美子 井上真左子 井上合子 イミリアアラスタジオ 岩崎敏信 上原智美 植松八千代 魚川桂子 鶴澤シズ 宇高美江 内田育子 松田た可子 内堀美喜 梅林治代 梅原薫 梅原光洋 浦多恵子 内部分和子 上床晃代 江田廣子 遠藤圭太 遠藤淳子 遠藤みつよ 遠藤陽子 大川久美子 大久保峯子 大倉弘子 大島庸子 大野文子 大室千里 緒方シゲ子 岡田テイチ 岡田智子 岡田基子 岡裕子 小川健治 荻野和子 奥山亜子 奥山チヤ子 小倉富子 小倉道子 オオサの会 尾崎節子 尾崎絃之 尾崎靖宣 尾崎ヨシ子 尾崎佳子 押立琴の会 小貴良子 おはなし夢くらぶ 尾山由美子 折田浩一 御野礼子 海江田紀久子 笠間豊子 鹿島千重子 鹿島キチ 梶山アサミ 梶原栄造 かすみ草の会 片桐キミ子 カットサロンアベ 勝間田清美 加藤静 加藤規子 加藤久江 加藤美美子 加藤洋子 金澤静江 鎌田英子 上沢美和子 亀岡紀知信 川名初江 川名悠里 岸波えり 北島美恵子 北村三枝 北村よしこ 木村朝江 木村伊都子 木村加代子 木森哲 木山みづほ 日下部恭子 草野美鈴 具嶋郁子 鯨節江 久保田摩耶子 蔵内陸子 栗原宏子 警視庁警察学校 弦間まさこ 小石曉子 小出辰一 小出由美子 小岩井雅人 河野トシヨ 国府よさこい 小島ユミ子 小島百合子 小菅よし江 後藤祐輝 小嶋いさ子 小林貞子 小林真弓 小林美代子 小林わか子 駒沢伸彰 小柳シヅエ 是永美代子 紺野和子 今野幸子 ザ・ボディショップ 齋藤孝子 齋藤則子 酒井和子 坂井香奈絵 酒井澄 坂本越子 坂本敬子 坂本ゆうな 佐久間桂子 櫻井功 櫻井正治 さくらんぼ保育所 佐々木英子 子 佐々木真由紀 佐藤秋子 佐藤美子 佐藤恵利 佐藤公子 佐藤恭子 佐藤妙子 佐藤ななか子 佐藤初江 佐藤雄也 佐野田鶴子 澤良子 塩澤佳津子 重田文子 品田啓子 淡合好子 シンラルタ生命 島田たず 清水文枝 下江美鈴 下染屋はやし連 下宏子 白石淑子 白石富美子 進藤サエ子 進藤理子 杉本 節子 杉山恵子 鈴木暉子 鈴木妙子 鈴木好枝 鈴木嘉子 スターバックスコーヒー 墨林久子 瀬戸貞子 浅間の森ハンドベルの集い 高井汪子 高鍋恵子 鷹野榮子 高橋恭子 高橋ちよ子 高橋尚子 竹内砂恵子 竹内由美子 竹松ふく 田島みよ 湛啓子 湛智子 辰本ケイコ 田中久美子 田中ヒサ子 田中美智子 田中翠 田部美智子 多摩スミイル吹奏楽団 丹野由紀子 千葉芳子 土屋とき枝 寺町律子 東樹クニエ 東郷實枝子 香世田ひかり 戸島止子 梶谷さくら子 富田和代 中下秀子 長島広美 永田良子 中津ひろ子 長泰和 中村紀久子 中村康 那須史子 美 中村美佐江 中村恭俊 中山康 根岸路子 久恵 西久保長子 西村珠美 二宮澄子 根岸路子 野坂昭弘 野坂いづ世 碓崎聖子 パームエコース 萩原紀恵 萩原八枝 橋場昭 橋本巖 橋本恵子 橋本真子 橋本節子 長谷川宣子 波多野慶子 羽島みのる 濱田真理奈 林恭子 羽山直子 原 恭子 原田 剛彦 原田まち子 原田康子 原俊江 樋口政子 樋口よし子 肥後住江 尾藤智子 平泉順子 平尾佳奈子 平岡美津子 平澤みどり 福田佐代子 藤田マサ子 平野恵子 広木さくら子 藤田佐代子 藤田マサ子 府中詩吟連盟 府中白糸台小学校合唱団 府中離子保存会 府中市立第六中学校吹奏楽部 船岡栄子 舟久保良子 舟見三佐子 古林泉 ふれあいクラブ浅間 星川美津子 星野ユキエ 星野若佐 堀切重明 本田ひろみ 孫田一昭 政所優季 増田博美 町田武年 町田知行 松尾和枝 松下朗 松田恵子 松野アイ 松原友子 丸田のぶ子 三坂和子 ミスターマック 峯岸直美 三輪孝子 壬生みつ子 宮崎清子 宮崎嘉子 宮下美智子 明神淑恵 明神冷子 武蔵国府太鼓 村井福子 村田博子 村野豊子 室博子 望月友子 百瀬洋子 母里英子 森脇敦子 八重子の会 谷貝祥子 矢ヶ崎綾子 谷田部末子 山川由希子 山口駿 山下優子 山田一九 山田佳津江 山田ケイ子 山田順子 山本博子 山本峯子 山本洋子 横川フワリ 尹 鮮希 横尾千絵 横尾美和子 横山年子 吉川笑美 吉川澄江 吉川美奈 吉田恒雄 吉田睦子 米山秀子 琉球国祭り太鼓 りまりの会 朗読赤十字奉仕団 ワイビオアロハ 若い芽の会ジュニアアンサンブル 若葉会 脇山令子 渡辺勇 渡辺一恵 渡辺勝征 渡辺キク 渡辺久代 渡辺弘子 渡辺房子 渡辺守 渡辺良人 (2013年7月~2013年9月)

編集後記

食欲の秋ですね。おいしい食べ物ばかりで困ってしまいませんか。(たっち 山本菜穂子) 食はずな周辺も紅葉が始まる時期になりました。毎年の楽しみになっています。(きずな 紫野久子) 朝晩は寒くなりました。冷え症なので生姜のパワーを借りて体を温めたいと思います。(しらとり 岡野悠子) 震災後、初めて車で宮城県と岩手県をゆっくり廻ってきました。海岸沿いの町はまだまだ津波が襲った生々しい姿が残っていました。高齢者が新たな土地での新しい生活を送ることの厳しさを理屈抜きに感じるものがありました。(泉苑 岩測研哉) 「介護保険を考える」をはじめ情報や数字の「表し方」に頭を悩ませることが多いので、秋の訪れを感じる今この頃です。秋の季節に生まれた私にとっては、一年の内が一番よい時期を迎えます。秋といえばスポーツ、真剣に取り組んだテニスを再開させる日が待ち遠しい。(泉苑 及川秀雄) 気がつけば今年も残りわずか。時代のスピードに頭も身体もついていけなくなつたあたりすみじみ思う今日この頃です。(緑苑 西林昌子) 今年には松茸が豊作で例年より安いとテレビで言っていました！今年こそと意気込んでいます。(あさひ苑 片岡 誠) 自転車に乗りながら、これかと散らしてしまうのは寂しいなと思いつつも色づく木々の葉を楽しんでいます。(あさひ苑 伊東裕子) 山が色づく季節になってきました。千代田区でも皇居周辺や靖国神社の銀杏の紅葉は見事です。(かんだ連雀 浅見達也) 今年の敬老会の職員出し物は「潮騒のメモリー」を踊りました。あまちゃんのおープニングテーマを聞くと、ついつい反応してしまいました。(若本町はほえみプラザ 天野英恵)

介護に関するご相談は 無料ダイヤルで!

- 泉苑 ☎0120-6540-24 老後支援 24時間
- あさひ苑 ☎0120-2942-24 福祉にっこり 24時間



多摩同胞会のホームページを携帯でもどうぞ!